

最終学歴	広島大学大学院 生物圏科学研究科 環境計画科学専攻 博士課程後期修了
称号／学位	博士(学術)
専攻(専門分野)	環境科学, 生物地球化学, フィールドサイエンス
研究テーマ	<ul style="list-style-type: none"> ・首都圏等における光化学オキシダントの解析 ・河川の源流や上流における陰イオンやミネラルの調査 ・太陽黄経による大気環境動態分析
所属学会／団体	環境科学会 / 日本生気象学会 / 環境情報科学センター

主要業績

【著書】

- ・「多摩丘陵の自然と研究 - フィールドサイエンスへの招待 - (共著)(土器屋由紀子・小倉紀雄・安富六郎・内川武編)」134p. (2001) けやき出版

【学術論文】

- ・「広島県極楽寺山におけるガス状汚染物質の動態とマツ・広葉樹の樹木活力度との相関関係(苗村晶彦・中根周歩・福岡義隆・佐久川弘)」, 『環境科学会誌』Vol.10, pp.1-10(1997)
- ・「Climatological and Geographical Characteristics within Inversion Layers in the Presence of High NO₂ Concentration(Naemura,A., Tsuchiya,A., and Nakane, K.)」, 『Water, Air and Soil Pollution』Vol.130, pp.343-348(2001)
- ・「紀伊田辺における降水およびアカマツ樹幹流中の溶存化学成分(苗村晶彦・花光重一郎・中根周歩)」, 『環境情報科学論文集』, Vol16, pp.235-238.(2002)
- ・「奥秩父および多摩丘陵におけるスギの林内雨, 樹幹流の測定(苗村晶彦・吉川哲生・佐藤敬一・土器屋由紀子)」, 『日本生気象学会雑誌』, Vol39,pp.121-125(2002)
- ・「秩父多摩甲斐山岳域における森林溪流水質の標高別分布(苗村晶彦・藤田俊忠・倉田斉・土器屋由紀子・楊宗興)」, 『自然環境科学研究』, Vol.16, pp.1-6(2003)
- ・「Acidic Deposition on Japanese cedar(*Cryptomeria japonica*)in Mountain and on Suburban Hill(Naemura, A., Yoshikawa, T., Yoh, M., Ogura, N., and Dokiya, Y.)」, 『Natural Environmental Science Research』Vol.20, pp.13-17(2007)
- ・「2006年8月4日の首都圏周辺の高濃度オゾンの出現(苗村晶彦・渡邊善之)」, 『自然環境科学研究』, Vol.28,pp.5-9(2015)

- ・「神奈川県茅ヶ崎市における二十四節気別のNO₂濃度(苗村晶彦・ 渡邊善之)」, 『戸板女子短期大学研究年報』, Vol.58, pp.33-37(2015)
- ・「東京タワーにおける季節別の夜間高NO₂濃度とポテンシャルオゾン濃度との関係(苗村晶彦・ 渡邊善之)」, 『日本生気象学会雑誌』, Vol53, pp.33-39(2016)
- ・「横浜市大岡川源流域における森林渓流水質(苗村晶彦・ 楊宗興)」, 『環境科学会誌』 Vol.29, pp.201-205(2016)

【最近の学会発表】

- ・「山梨県における高オゾン濃度時の特徴(苗村晶彦・ 渡邊善之)」, 第54回日本生気象学会大会, 2015年11月名古屋
- ・「東京, 福島および釜石における太陽黄経によるNO₂の季節変動(苗村晶彦・ 渡邊善之)」 第55回日本生気象学会大会, 2016年11月札幌

【受賞】

- ・第7回(平成10年度)日本生気象学会研究奨励賞「Climatic Inversion Layer and Atmospheric NO_x Concentration on the Slope of Forest Decline Area in the Seto Inland Sea District, Japan」